

令和5年度文部科学省委託事業  
「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

# 留学生に関する 実態把握アンケート調査報告書

専修学校対象

令和5年10月調査

---

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

## ◇調査方法

調査対象：大専各会員校(専修学校66校、各種学校1校)  
調査方法：インターネット調査 (アンケート)  
調査期間：2023年10月10日～10月27日  
回答数：67

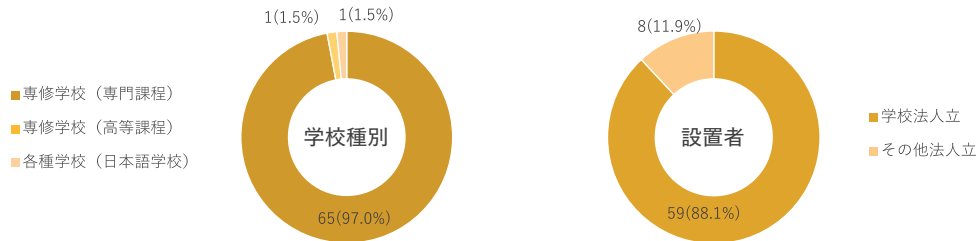
## ◇INDEX

|     |  |
|-----|--|
| P01 | 1. 調査概要／INDEX                          |
| P02 | 2. 回答者属性                               |
| P04 | 3. 本調査                                 |
| P04 | 1-1 留学生の出身国・地域                         |
| P05 | 1-2 国籍の変化に伴う教育内容の変化                    |
| P06 | 1-3 ポストコロナにおける取り組み                     |
| P07 | 1-4 海外からの直接入学と海外現地広報の状況                |
| P08 | 1-5 留学生受入れの課題                          |
| P09 | 1-6 今後の留学生募集計画                         |
| P10 | 1-7 留学生からの相談内容                         |
| P11 | 1-8 ポストコロナにおける課題                       |
| P12 | 1-9 ポストコロナにおける企業の変化と要望                 |
| P13 | 1-10 行政等施策の要望と留学生イベントに期待すること           |
| P14 | 2-1 (留学生を受入れていない学校)留学生の受入れ意向と課題        |
| P15 | 3-1 (以前は留学生を受入れていた学校)留学生受入れ断念の理由と今後の展望 |
| P16 | 4-1 大専各に対する意見や要望                       |

# 2 回答者属性

## ◇学校種別と設置者

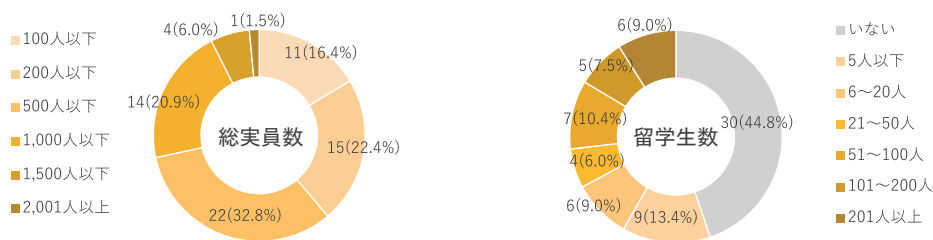
回答数：67件



|      |             | 設置者   |        |      |        |
|------|-------------|-------|--------|------|--------|
|      |             | 学校法人立 | その他法人立 | 個人立  | 総計     |
| 学校種別 | 専修学校（専門課程）  | 58    | 7      |      | 65     |
|      |             | 86.6% | 10.4%  |      | 97.0%  |
|      | 専修学校（高等課程）  |       | 1      |      | 1      |
|      |             |       | 1.5%   |      | 1.5%   |
|      | 専修学校（一般課程）  |       |        |      | 0      |
|      |             |       |        | 0.0% |        |
|      | 各種学校（日本語学校） | 1     |        |      | 1      |
|      |             | 1.5%  |        |      | 1.5%   |
|      | 総計          | 59    | 8      | 0    | 67     |
|      |             | 88.1% | 11.9%  | 0.0% | 100.0% |

## ◇総実員数に占める留学生数

回答数：67件

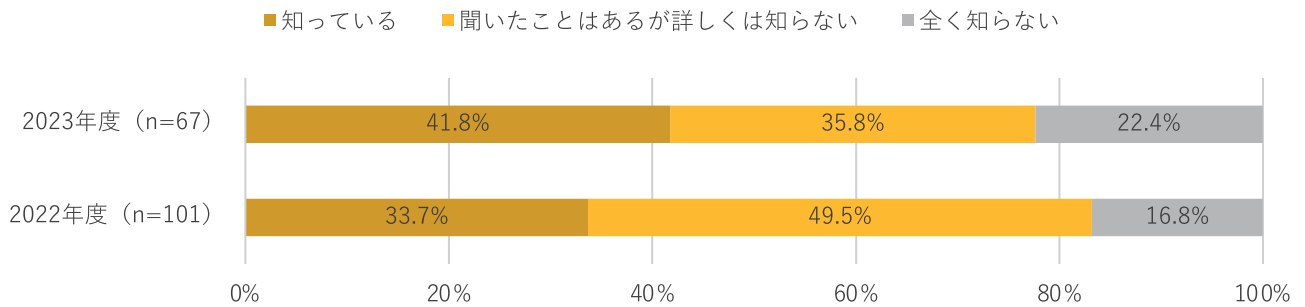


|      |          | 留学生数  |       |       |        |         |          |        | 総計     |
|------|----------|-------|-------|-------|--------|---------|----------|--------|--------|
|      |          | いない   | 5人以下  | 6～20人 | 21～50人 | 51～100人 | 101～200人 | 201人以上 |        |
| 総実員数 | 100人以下   | 6     | 1     | 1     | 1      | 2       |          |        | 11     |
|      |          | 9.0%  | 1.5%  | 1.5%  | 1.5%   | 3.0%    |          |        | 16.4%  |
|      | 200人以下   | 11    | 2     |       |        | 1       | 1        |        | 15     |
|      |          | 16.4% | 3.0%  |       |        | 1.5%    | 1.5%     |        | 22.4%  |
|      | 500人以下   | 9     | 4     | 2     | 1      | 1       | 2        | 3      | 22     |
|      |          | 13.4% | 6.0%  | 3.0%  | 1.5%   | 1.5%    | 3.0%     | 4.5%   | 32.8%  |
|      | 1,000人以下 | 4     | 1     | 3     | 1      | 3       | 1        | 1      | 14     |
|      | 6.0%     | 1.5%  | 4.5%  | 1.5%  | 4.5%   | 1.5%    | 1.5%     | 20.9%  |        |
|      | 1,500人以下 |       | 1     |       | 1      |         |          | 2      | 4      |
|      |          |       | 1.5%  |       | 1.5%   |         |          | 3.0%   | 6.0%   |
|      | 2,001人以上 |       |       |       |        |         | 1        |        | 1      |
|      |          |       |       |       |        |         | 1.5%     |        | 1.5%   |
|      | 総計       | 30    | 9     | 6     | 4      | 7       | 5        | 6      | 67     |
|      |          | 44.8% | 13.4% | 9.0%  | 6.0%   | 10.4%   | 7.5%     | 9.0%   | 100.0% |

## 2 回答者属性

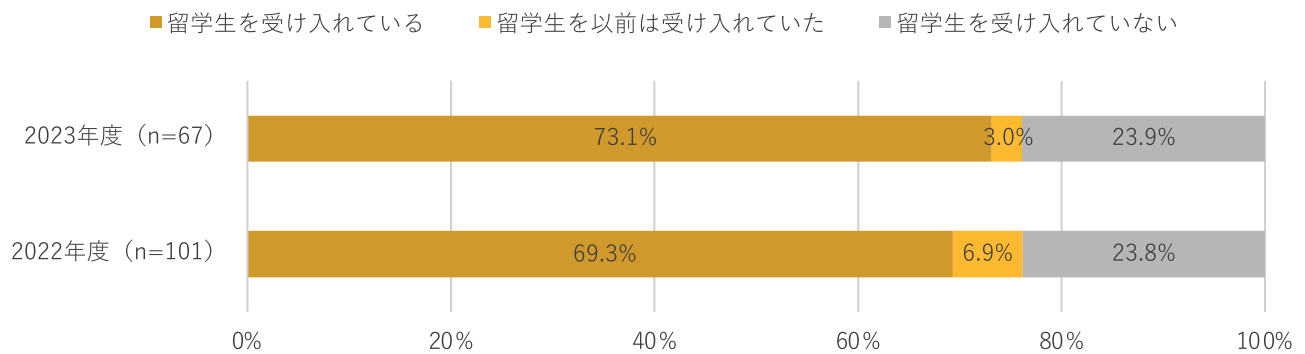
### ◇大専各の「留学生委員会」の活動を知っていましたか？

回答数：67件



### ◇留学生の受入れ状況

回答数：67件

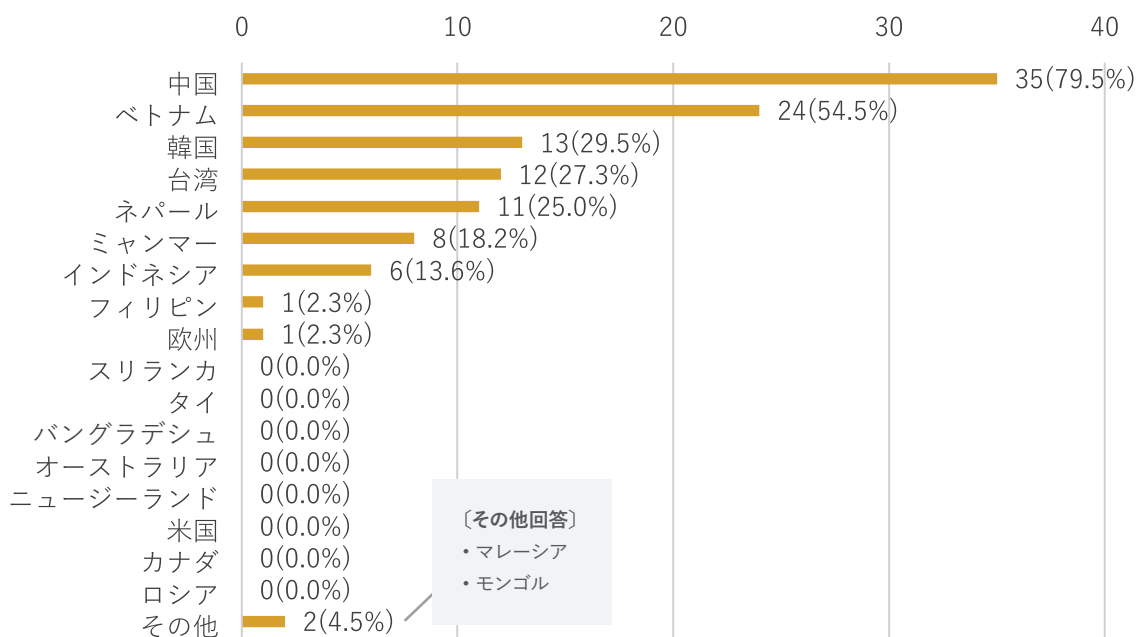


## 1-1 留学生の出身国・地域

留学生を受入れている学校に対し、在籍留学生の主な出身国・地域を確認したところ「中国(79.5%)」が最多、「ベトナム(54.5%)」、「韓国(29.5%)」が続く結果となった。急増している「ネパール(25.0%)」については専門学校生としてはまだ少ないと言える。コロナ禍の前後での国籍変化と合わせて分析すると、ベトナム、ネパール、ミャンマーなどの東南アジアの在籍学生割合が多い学校で国籍の変化があるとの回答が多い。

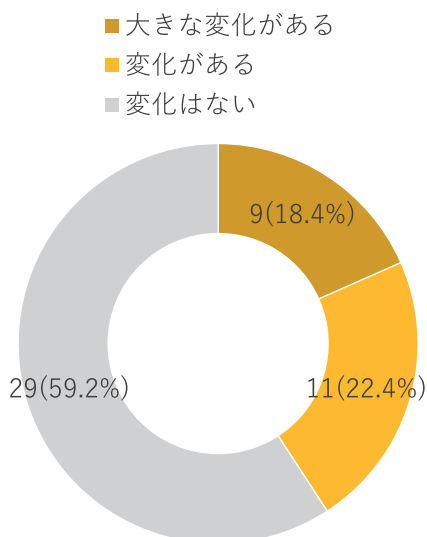
### ◇在籍留学生の主な出身国・地域 (複数回答可/3つまで)

回答数：44件

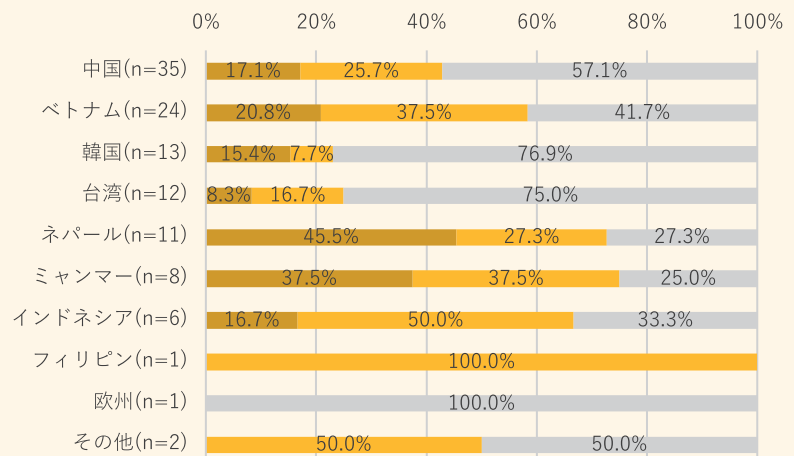


### ◇在籍留学生の国籍についてコロナ禍の前後で変化がありますか？

回答数：49件



#### 在籍留学生の主な出身国・地域回答別の比較



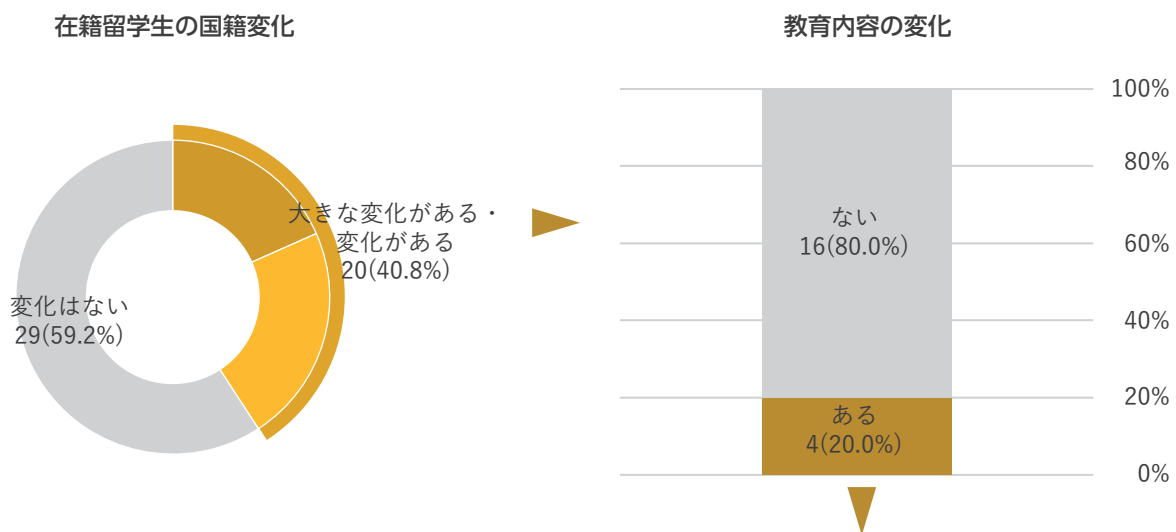
## 1-2 国籍の変化に伴う教育内容の変化

留学生の国籍の変化がある専門学校に教育内容の変化を聞いたところ、「変化はない(80.0%)」が大半を占める結果になった。多くの専門学校では教育内容の変更を感じていないと言える。一方で、2割の学校では補習講座や留学生専用クラスの増加などの対応も行っている。ただし別途日本語学校向けの調査では約5割が教育内容の変化があり、今後専門学校でも教育内容の変化が必要になる可能性があると言える。

前項「在籍留学生の国籍についてコロナ禍の前後で変化がありますか?」にて、「大きな変化がある」「変化がある」と答えた方に質問です。

### ◇国籍の変化に伴う教育内容の変化はありますか?

回答数：20件



#### 具体的な変化の内容

- 非漢字権の学生が多く日本語の授業は補習講座を設定している
- 留学生専用クラスの増加
- 漢字クラスの時間数
- 日本語補講

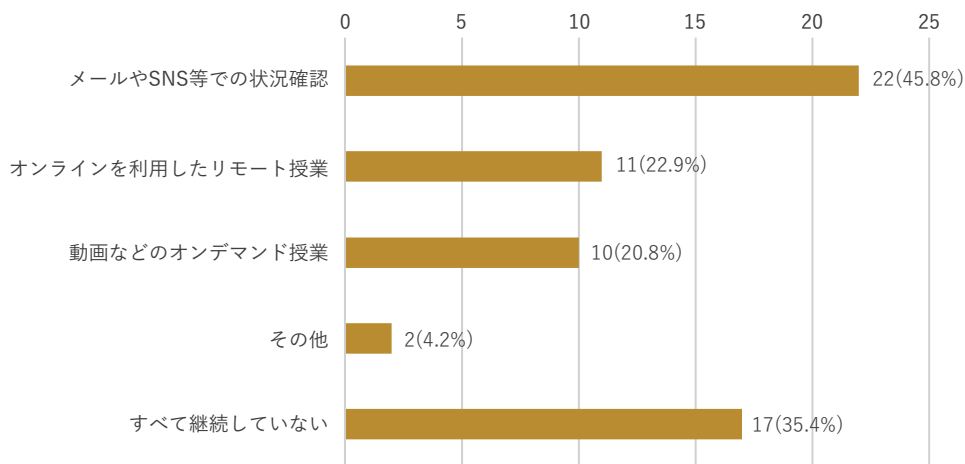
(注釈:表記は原文ママ)

## 1-3 ポストコロナにおける取り組み

コロナ禍の取り組みでポストコロナでも継続しているものを確認したところ、「メールやSNS等での状況確認(45.8%)」が継続している一方、すべて継続していないという学校も3割以上にのぼる。「オンラインを利用したリモート授業(22.9%)」「オンデマンド授業(20.8%)」なども一部の学校では取り組みは継続している。

◇コロナ禍の取り組みでポストコロナでも継続しているものを教えてください。  
(あてはまるものすべて)

回答数：48件



〔その他回答〕

- GoogleClassroomなど教育サービスの活用
- 家族が陽性の場合、自宅待機(リモート授業)をお願いしている

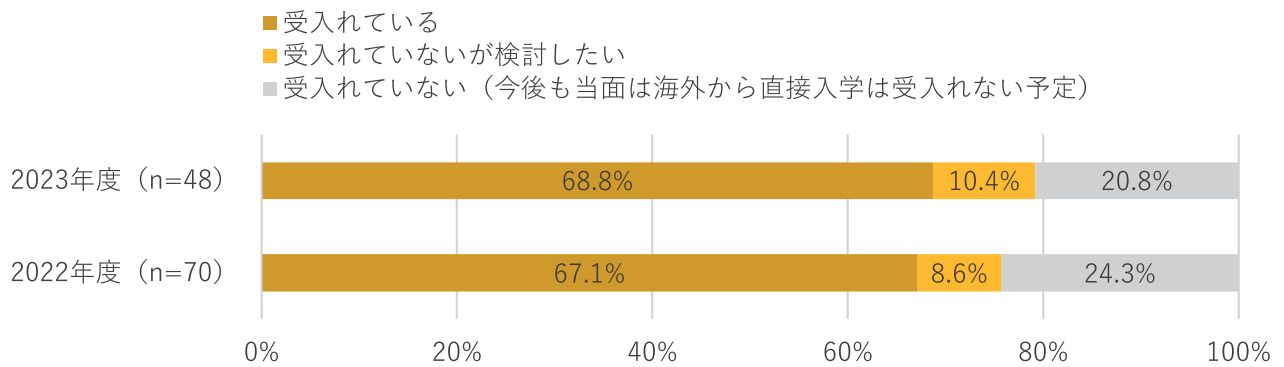
(注釈:表記は原文ママ)

## 1-4 海外からの直接入学と海外現地広報の状況

海外からの直接入学を受入れているかの問いに対しては「受入れている」が68.8%となっており受入れ傾向が年々強まっている。海外現地への広報については「広報は不要(50.0%)」と考えている専門学校が多く、前回調査と比較すると海外広報へは消極的で募集が順調な学校が多いと推察される。また海外広報についてはすでに留学生を受入れている専門学校のみが実施しており、国内留学生が優先される状況が確認できる。

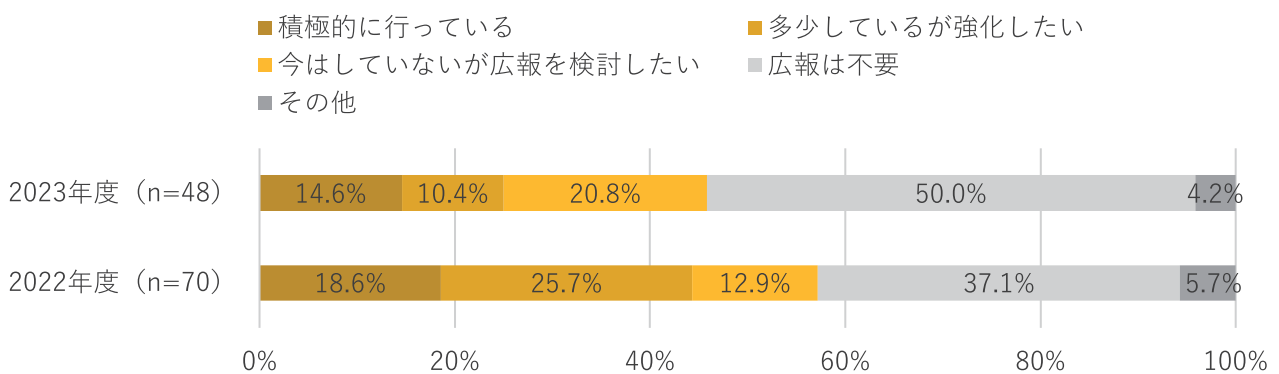
### ◇海外からの直接入学を受入れていますか？

回答数：48件



### ◇海外現地への広報について

回答数：48件



|           |                                   | 海外現地への広報  |              |                  |       |       | 総計     |
|-----------|-----------------------------------|-----------|--------------|------------------|-------|-------|--------|
|           |                                   | 積極的にやっている | 多少しているが強化したい | 今はしていないが広報を検討したい | 広報は不要 | その他   |        |
| 海外からの直接入学 | 受入れている                            | 7         | 4            | 5                | 15    | 2     | 33     |
|           |                                   | 14.6%     | 8.3%         | 10.4%            | 31.3% | 4.2%  | 68.8%  |
|           | 受入れていないが検討したい                     |           | 1            | 3                | 1     |       | 5      |
|           |                                   |           | 2.1%         | 6.3%             | 2.1%  |       | 10.4%  |
|           | 受入れていない (今後も当面は海外から直接入学は受け入れない予定) |           |              | 2                | 8     |       | 10     |
|           |                                   |           | 4.2%         | 16.7%            |       | 20.8% |        |
|           | 総計                                | 7         | 5            | 10               | 24    | 2     | 48     |
|           |                                   | 14.6%     | 10.4%        | 20.8%            | 50.0% | 4.2%  | 100.0% |



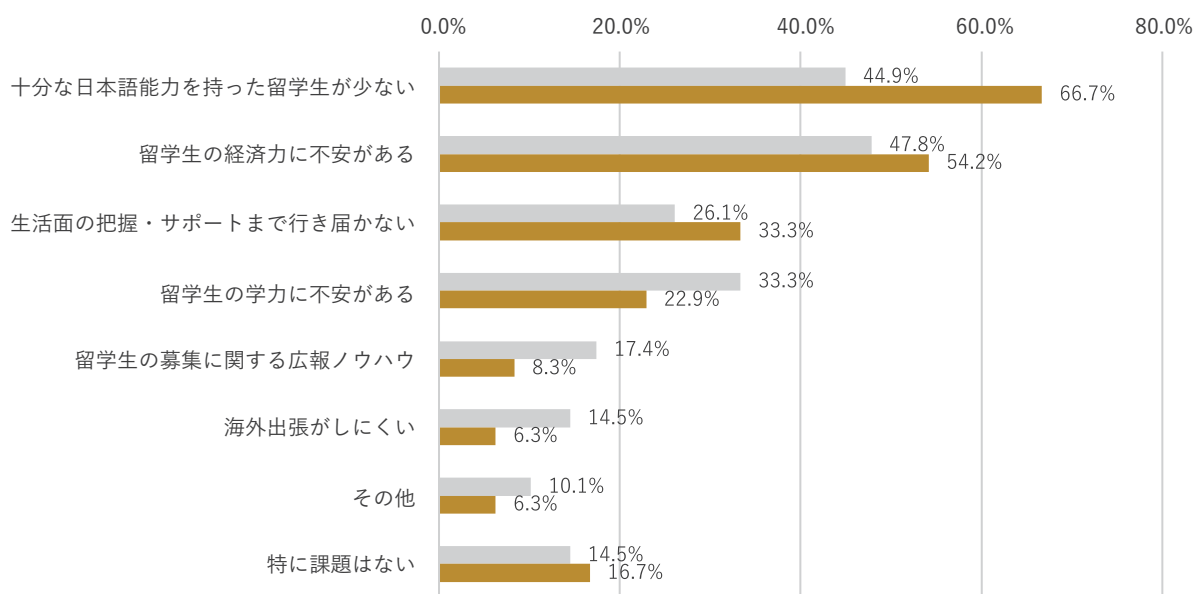
## 1-5 留学生受入れの課題

留学生受入れについての課題については「十分な日本語能力を持った留学生が少ない(66.7%)」が最多となり、入国制限が解除された2022年よりも日本語能力に対する課題感が高い結果となった。また「留学生の経済力に不安がある(54.2%)」「生活面の把握・サポートまで行き届かない(33.3%)」も前回調査よりも高くなっており、日本での生活に対する課題感が強くなっている。

◇留学生受入れについての課題を教えてください。(複数回答可/3つまで)

回答数：48件

■ 2022年度 (n=69)    ■ 2023年度 (n=48)

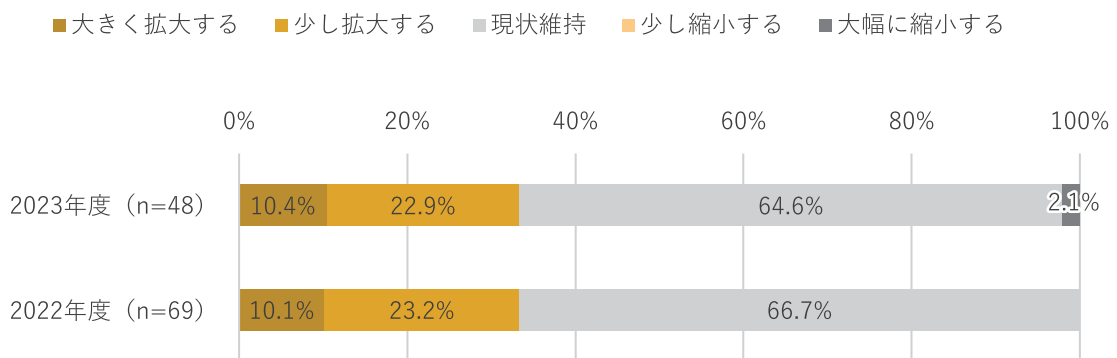


## 1-6 今後の留学生募集計画

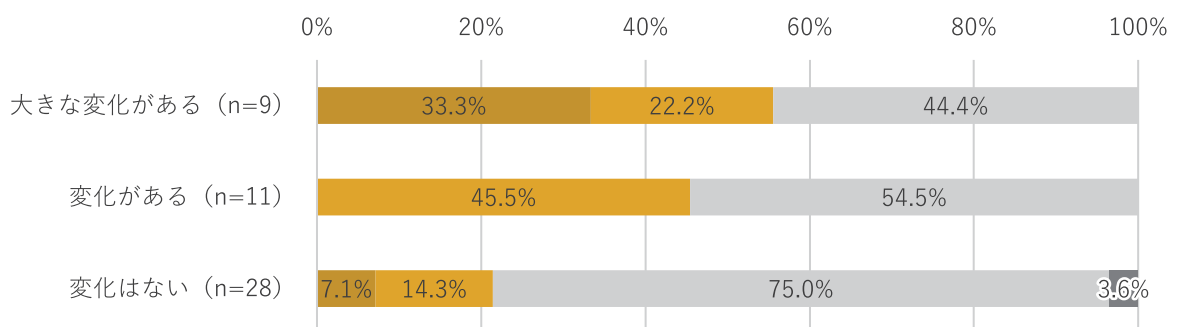
今後の留学生募集計画については「現状維持(64.6%)」が最多となっており、ほぼ前回調査と同様の結果となった。留学生の国籍変化と合わせてみてみると、国籍変化が大きい学校は「大きく拡大する(33.3%)」「少し拡大する(22.2%)」と留学生募集を拡大検討している傾向があるといえる。

### ◇今後、留学生募集をどのように計画していますか？

回答数：69件



### 在籍留学生の国籍変化の比較

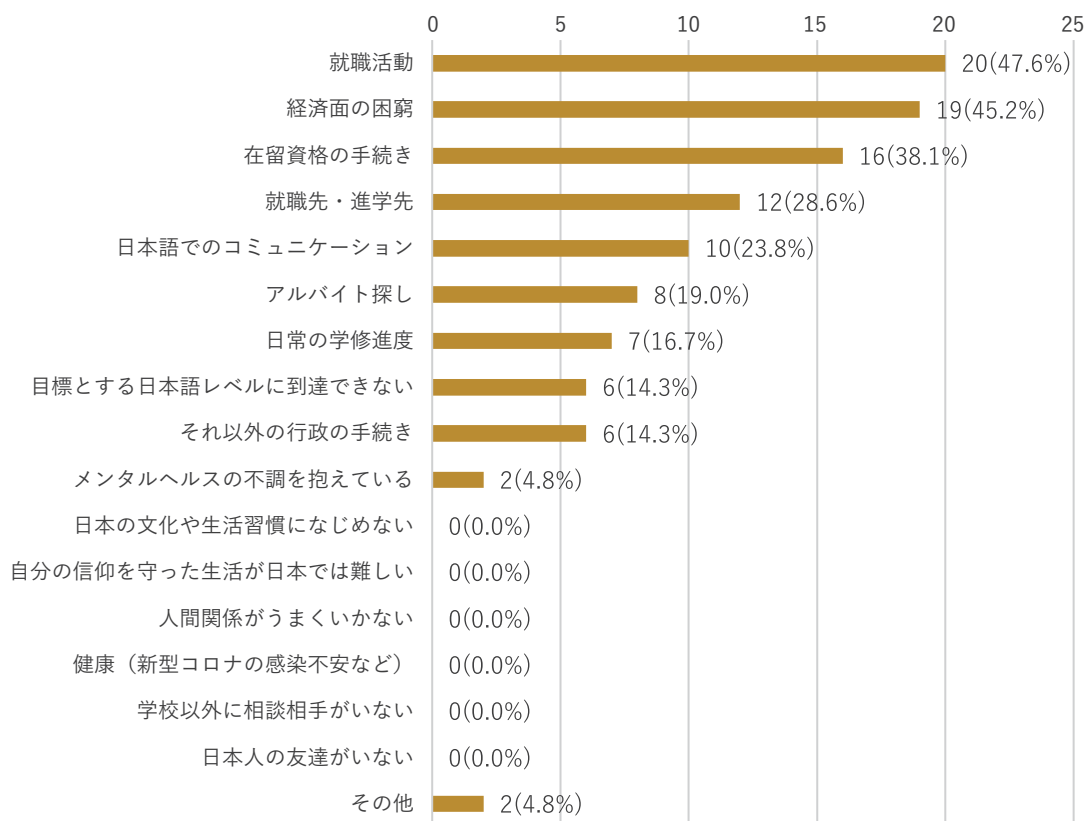


## 1-7 留学生からの相談内容

留学生からの相談については「就職活動(47.6%)」が最多、「経済面の困窮(45.2%)」「在留資格の手続き(38.1%)」「就職先・進学先(28.6%)」などが高い数値となった。ポストコロナで対面でのコミュニケーション可能になったためか、人間関係や健康不安についての相談はなくなった一方で、就職や金銭面についての課題を抱えているといえる。

◇学校生活や私生活に関して、留学生から相談を受けるものとしてどのようなものが多いですか。  
(複数回答可/3つまで)

回答数：42件

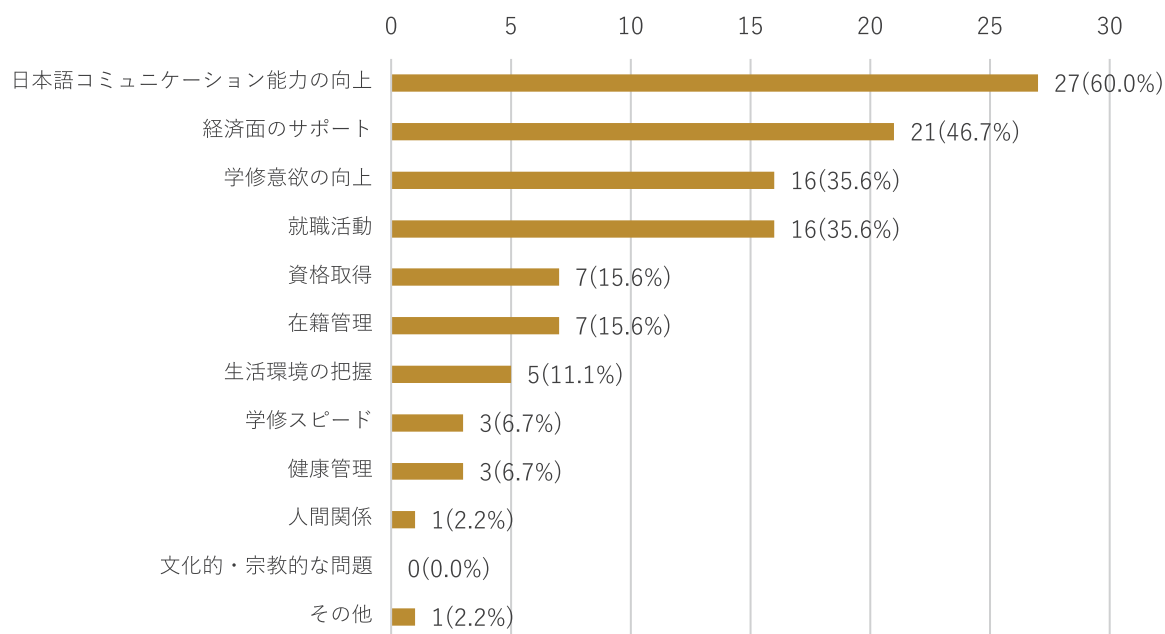


## 1-8 ポストコロナにおける課題

ポストコロナにおける留学生支援の課題について「日本語コミュニケーション能力の向上(60.0%)」が最多、「経済面のサポート(46.7%)」「学修意欲の向上(35.6%)」「就職活動(35.6%)」も課題感が高い。同様に留学生の進路指導・就職活動についての課題についても「日本語能力などのコミュニケーション能力不足(63.8%)」が最多となっており、多くの専門学校で留学生の日本語能力に課題感を感じている。

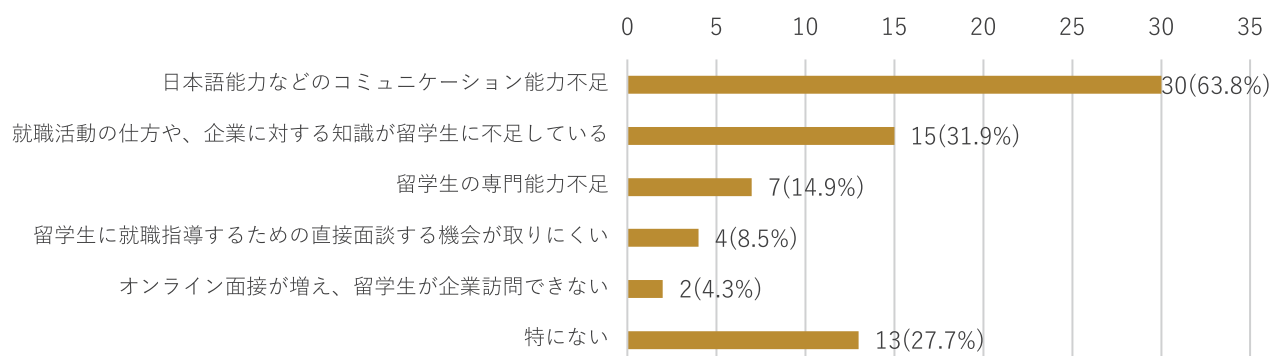
◇貴校にとって、ポストコロナにおける留学生支援の課題を教えてください  
(複数回答可/3つまで)

回答数：45件



◇ポストコロナにおける留学生の「進路指導・就職活動」についての課題を教えてください  
(複数回答可/3つまで)

回答数：47件

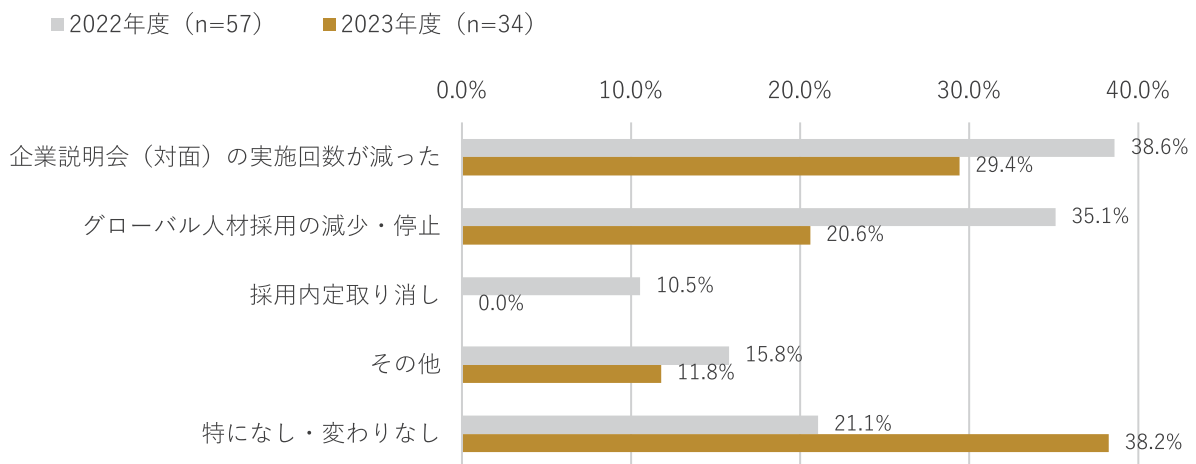


## 1-9 ポストコロナにおける企業の変化と要望

企業の採用状況の変化については「特になし・変わりなし」が38.2%で最多だった。一方で「企業説明会（対面）の実施回数が減った（29.4%）」「グローバル人材採用の減少・停止（20.6%）」は前回調査より減少しており、コロナ前の状況に戻りつつあるといえる。就職活動先企業への要望としては「外国人を採用する体制・知識の充実（71.4%）」が最多、「留学生採用枠の確保（64.3%）」も高い数値となっており、企業側での外国人採用への理解や体制づくりを期待しているといえる。

### ◇ポストコロナにおける企業の採用状況の変化について感じることを教えてください（複数回答可/2つまで）

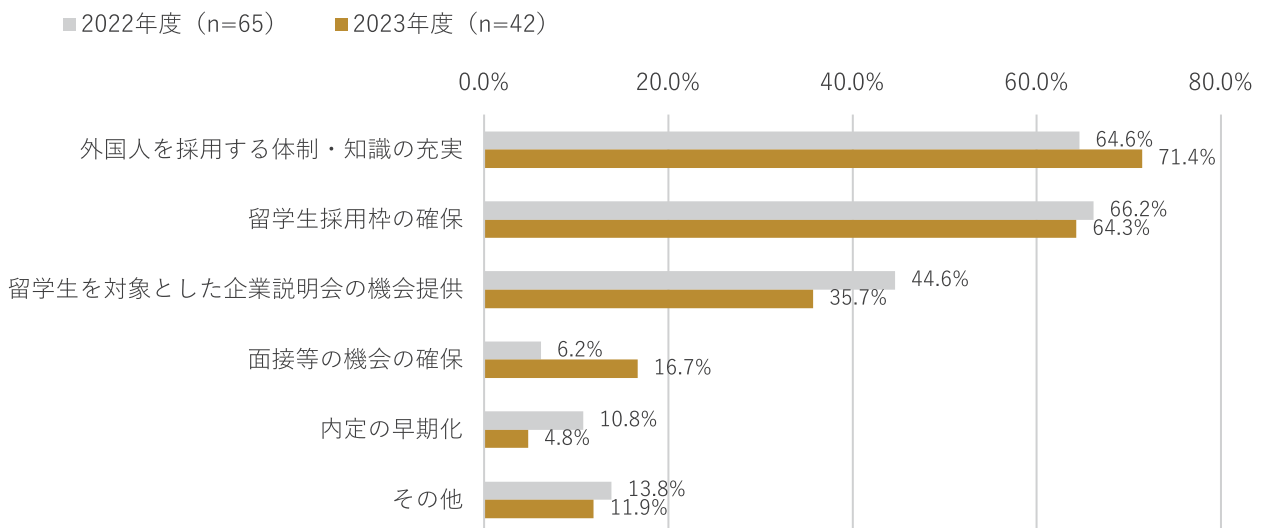
回答数：34件



注) 2022年度は「コロナ禍以降における企業の採用状況の変化について感じることを教えてください（複数回答可/2つまで）」という設問で同様の選択肢を用意

### ◇就職活動先企業への要望を教えてください（複数回答可/3つまで）

回答数：42件



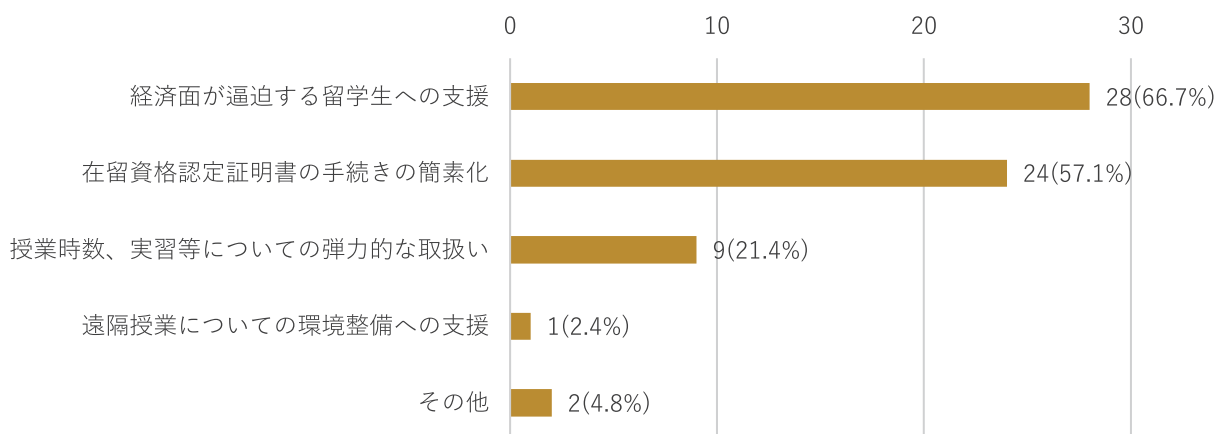
注) 選択肢「面接等の機会の確保」は2022年度は「リモート面接等の機会の確保」という名称で回答募集

## 1-10 行政等施策の要望と留学生イベントに期待すること

行政等に対する要望としては、「経済面が逼迫する留学生への支援(66.7%)」が最多、「在留資格認定証明書の手続きの簡素化(57.1%)」と経済支援と手続きの簡素化を求める声が前回調査よりも多く集まった。また専門学校と日本語学校に関わるイベントに期待することとしては、「留学生支援策の拡充」「留学生の最新進学状況の把握と見通し」が同率で47.5%で最多。就職状況への関心も高く、多くの学校で情報を求めているといえる。

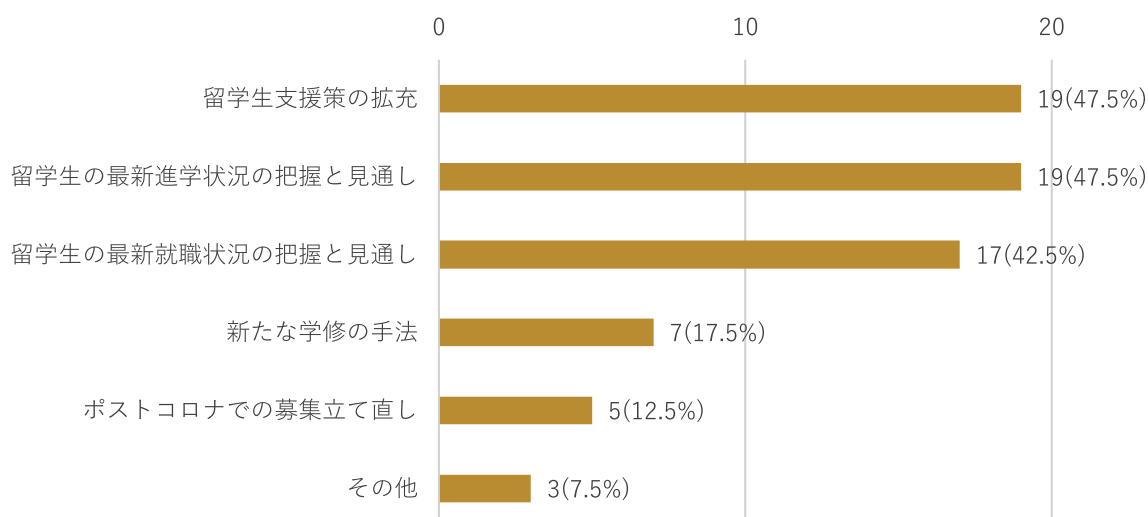
◇留学生に関わる行政等に対する施策の要望でとくに期待するものをお答えください  
(複数回答可/2つまで)

回答数：42件



◇専門学校と日本語学校に関わるイベント(研修会、交流)等で、どのような内容を希望しますか?  
(複数回答可/3つまで)

回答数：40件

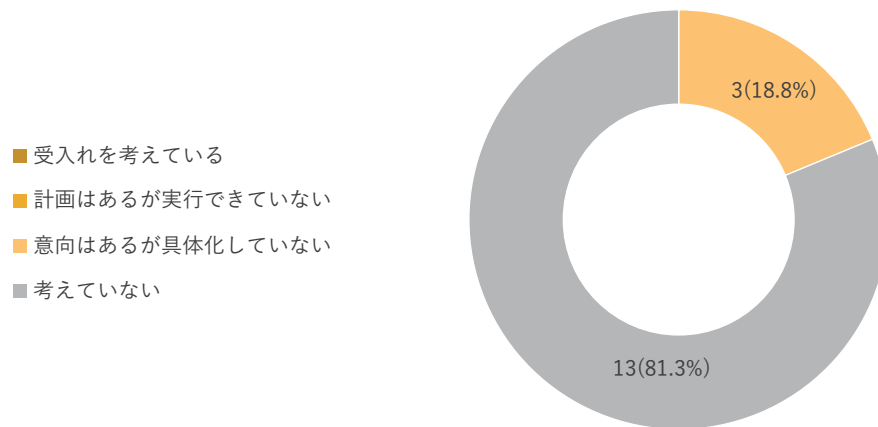


## 2-1 留学生の受入れ意向と課題

留学生を受入れていない専門学校に今後の留学生受入れ意向について聞いたところ「意向はあるが具体化していない」学校は18.8%と、多くの専門学校では受入れを「考えていない(81.3%)」という結果になった。受入れ意向がある学校に留学生受入れのハードルを聞いたところ学生生活、学習支援、就職・進学支援など多くの部分で留学生受入れ体制が整っていないことが理由にあげられた。

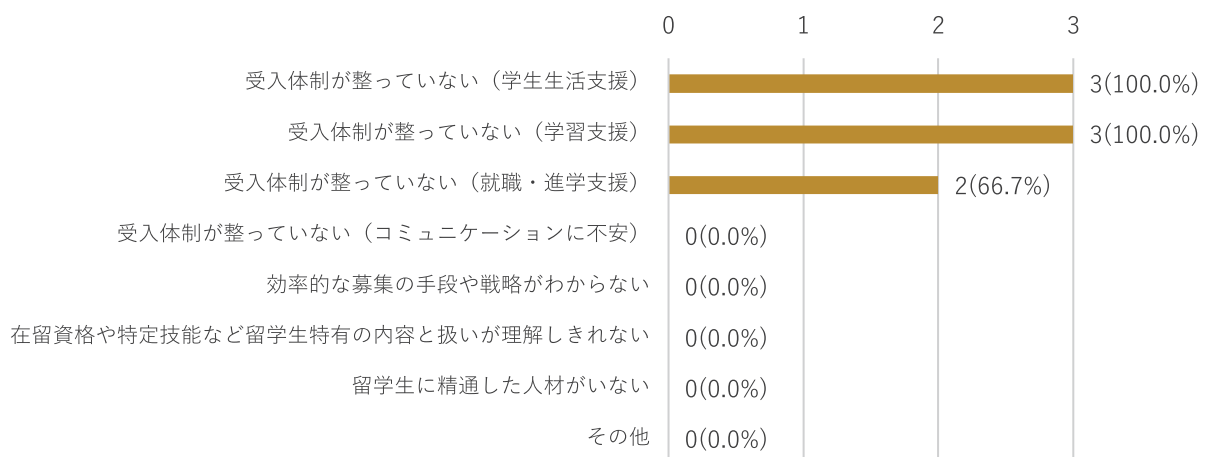
### ◇今後、留学生の受入れを考えていますか？

回答数：16件



### ◇留学生の受入れを検討する選択肢 (受入れを考えている/計画はあるが実行できていない/意向はあるが具体化していない) を選んだ方に質問です。留学生受入れの主要なハードルはどんなことですか？ (複数回答可/3つまで)

回答数：3件

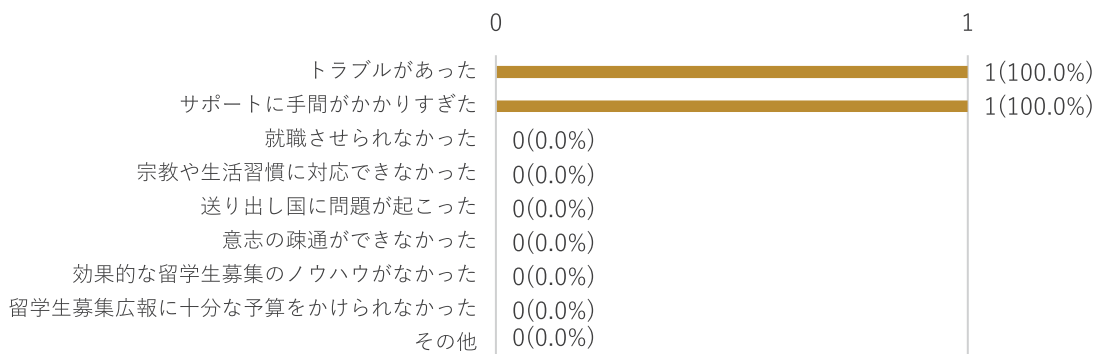


## 3-1 留学生受入れ断念の理由と今後の展望

「留学生を以前は受入れていた」学校に対し、受入れ停止理由を尋ねたところ、トラブルやサポートにかかる負担という回答が得られた。受入れ再開を考えている学校がある一方で、留学生に詳しい人材の不在など留学生対応への不安感が受入れ再開に対するハードルになっている。

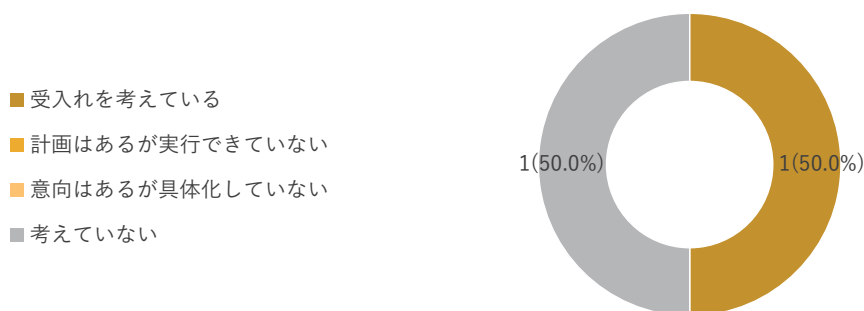
### ◇受入れをやめた理由を教えてください(複数回答可/3つまで)

回答数：1件



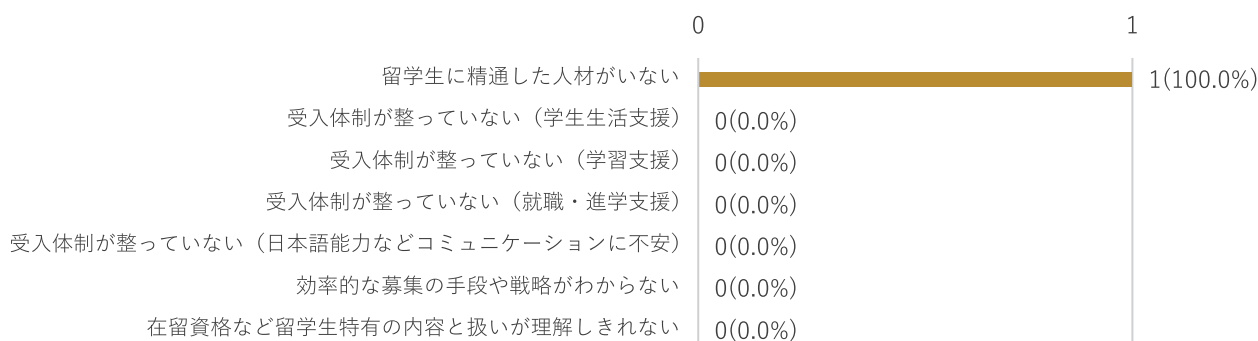
### ◇今後、留学生の受入れを考えていますか？

回答数：2件



### ◇留学生の受入れを検討する選択肢(受入れを考えている/計画はあるが実行できていない/意向はあるが具体化していない)を選んだ方に質問です。留学生受入れの主要なハードルはどんなことですか？(複数回答可/3つまで)

回答数：1件





## 4-1 大専各に対する意見や要望

◇留学生の受入れや就職について、大専各に対するご意見やご要望、期待することなど自由にお聞かせください。(任意)

回答数：3件

### [留学生を受入れている]学校

- ・専門学校に所属する留学生の就労ビザ取得および求人企業様の共有をお願いしたいです。また、税金・保険・年金の支払いの整備
- ・経済的支援策を期待しております

### [留学生を受入れていない]学校

- ・現在、留学生からのお問い合わせが無く、受け入れていない状況です。希望者が出てきましたら、受け入れ態勢を含めご相談に乗っていただけたら、幸いです。

(注釈:表記は原文ママ)

令和5年度文部科学省委託事業  
「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

留学生に関する実態把握アンケート調査報告書  
[専修学校対象]

発行日 2023年12月 第1版

受託 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

編集 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会  
(データ集計・分析 株式会社アクセスネクステージ)

住所 〒534-0026 大阪府大阪市都島区網島町6-20 大阪私学会館1F

TEL 06-6352-0048 FAX 06-6352-7553

大専各サイト <https://daisenkaku.or.jp/>

OSAKA留学生情報サイト <https://study-osaka.com/>